

## 令和7年度 教育委員会 第18回定例会 議案

1 日 時 令和8年1月7日(水) 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 案

第32号議案 中東遠・浜松地区新特別支援学校の校名選考

… 1

(3) 閉 会

<非>第 32 号議案

中東遠・浜松地区新特別支援学校の校名選考

令和 9 年度に開校する中東遠・浜松地区新特別支援学校の校名選考について別紙のとおり決定する。

令和 8 年 1 月 7 日提出

静岡県教育委員会教育長

(件 名)

中東遠・浜松地区新特別支援学校の校名選考

1 学校の概要

設置場所	磐田市加茂 1026 (磐田市立豊田北部小学校旧敷地)
設置学部	小学部、中学部、高等部
対象障害種別	知的障害 (単一・重複)、肢体不自由 (重複)
通学区	磐田市及び浜松市の一部

2 校名選定の経緯

日程	内容	備考
R7. 9. 26～ 10. 30	一般公募 (HP、チラシ等)	応募数 : 116 件 校名案数 : 67 点
R7. 12. 1	校名選考予備審査会 (候補案を選出)	委員 : 児童生徒代表、教員代表
R7. 12. 3	校名選考審査会 (候補案を 5 点選考)	委員 : 自治会長、袋井特支 PTA 会長、袋井特支校長、副校長、浜松特支校長、浜北特支校長、特別支援教育課長
R7. 12. 8	特別支援教育課選考 (候補案を選考)	

3 校名案

応募数、審査会得票数ともに一位であり、また、知的障害特別支援学校本校の校名として、これまで地名を多く採用してきていることも考慮し、特別支援教育課の案として選定した。

校名案	応募数	審査会 得票数
静岡県立磐田特別支援学校 応募数、審査会得票数ともに一位である。所在地である「磐田」とすることで、児童生徒や地域の方々からも、県内外の方々からも分かりやすく、親近感がもてる。また、袋井、掛川、藤枝等、県内の特別支援学校名と併記したとき一体感がある。地域の発展とともに歩み、地域に根ざした学校になるようにという願いが込められている。	33 件	7 票

#### 4 その他の候補

校名候補及び理由	応募数	審査会 得票数
<b>静岡県立いわた特別支援学校</b> 所在地である「磐田」を平仮名とすることで、優しい印象となり、児童生徒や地域の方々からも分かりやすく、書きやすくなる。地域に愛され、地域と共に活気あふれる学校になるようにという願いが込められている。	6件	7票
<b>静岡県立磐田ながふじ特別支援学校</b> 所在地である「磐田」を入れることで分かりやすい。「ながふじ学府」との一体感がもて、親しみやすい。地元のシンボルである「ながふじ」を入れることで、一層の共生・共育の推進を図るとともに、健やかな優しい心のこどもたちが育ち、地域に根ざした学校となるようにという願いが込められている。	4件	6票
<b>静岡県立磐田みらい特別支援学校</b> 所在地である「磐田」を入れることで分かりやすい。前向きや可能性をイメージさせる「みらい」を取り入れることにより、こどもたちが未来に向かってはばたいてほしいという願いが込められている。	1件	5票
<b>静岡県立遠州豊田特別支援学校</b> 地域にゆかりのある名前と所在地の組み合わせ。「遠州」とすることで通学区をイメージでき、所在地があることで、学校がどこにあるか分かりやすく、親しみやすい。地域の発展とともに歩み、学び続ける新しい学校になるようにという願いが込められている。	1件	3票

#### ※県立特別支援学校の校名

校種	障害種	校名
本校	視覚	沼津視覚、静岡視覚、浜松視覚
	聴覚	沼津聴覚、静岡聴覚、浜松聴覚
	知的	伊豆の国、御殿場、沼津、富士、清水、静岡北、藤枝、吉田、掛川、袋井、浜北、浜松、浜名、浜松みをつくし
	肢体	東部、中央、静岡南部、西部
	病弱	天竜
分校	知的	小山、伊豆田方、愛鷹、富士宮、富士東、南の丘、焼津、御前崎、磐田見付、磐田、城北、伊東、伊豆高原、伊豆下田、伊豆松崎

※令和8年度より、視覚・知的本校として、するが視覚総合特別支援学校、知的分校として浜松特別支援学校江之島分校が開校する。

#### 5 今後のスケジュール

2月県議会において「静岡県立学校設置条例の一部を改正する条例」を提出、議決をもって決定。(令和8年2月17日開会、令和8年3月16日閉会)